

平成26年度 ふじみ衛生組合運営方針

事務局長 井上 稔
事務局長 齊藤 忠慶

●ふじみ衛生組合の運営方針

三鷹市及び調布市（以下「組織市」という。）の行財政を取り巻く環境は、引き続き、大変厳しい状況です。ふじみ衛生組合では、資源物回収や効率的な発電により、歳入の効果的な確保を図りながら、運営経費の抑制に努め、組織市の健全な財政運営に寄与するとともに、安全で安定した施設運営に努めます。

クリーンプラザふじみについては、引き続き、環境と安全に徹底的に配慮し、緊急事態への対応も含め適正なごみ処理に取り組みます。

また、リサイクルセンターについては、日々の不燃ごみ及び資源物を適正に処理し、資源化を継続して推進するとともに、臭気対策の設備改善に見られるような施設の適切な維持管理及び長寿命化を図るための対策を実施していきます。

ふじみ衛生組合は、組織市約40万人市民の皆様の生活を守る立場で、ごみ処理行政を推進するとともに、両市の環境学習の中心施設として、市民に愛される施設づくりに努めていきます。

- 職員数
- | | |
|--------------------|--------------|
| 正規職員 13人（うち管理職 4人） | 非常勤特別職参事 1人 |
| | 短時間再任用職員 2人 |
| | 非常勤特別職嘱託員 1人 |
| | 臨時職員 1人 |

●予算規模（当初）

一般会計 歳入 16億9,380万7,000円 歳出 16億9,380万7,000円
（職員人件費を含む）

（歳入内訳）

単位：千円

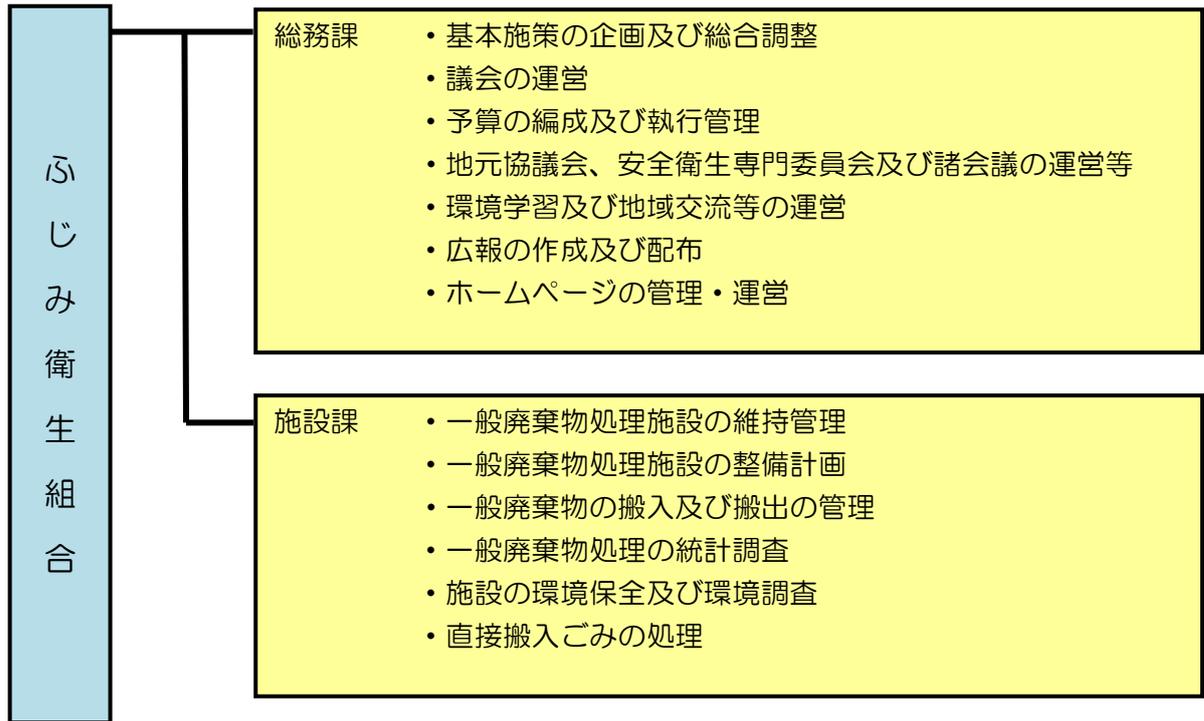
款	本年度予算	前年度予算	比較	構成比
1 分担金及び負担金	793,596	892,746	△99,150	46.9%
2 使用料及び手数料	315,000	304,500	10,500	18.6%
3 国庫支出金	1,672	4,410	△2,738	0.1%
4 繰越金	20,000	20,000	0	1.2%
5 諸収入	505,539	368,870	136,669	29.8%
6 組合債	58,000	46,000	12,000	3.4%
（財産収入）	0	69,369	△69,369	0.0%
歳入合計	1,693,807	1,705,895	△12,088	100.0%

（歳出内訳）

単位：千円

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	構成比
1 議会費	6,647	6,717	△70	0.4%
2 総務費	127,334	109,694	17,640	7.5%
3 事業費	1,491,237	1,489,079	2,158	88.0%
4 公債費	48,589	80,405	△31,816	2.9%
5 予備費	20,000	20,000	0	1.25%
歳出合計	1,693,807	1,705,895	△12,088	100.0%

●組織体系図



●実施方針と個別事業の取り組み

【実施方針】

『環境にやさしい、ごみ処理施設を目指します。』

組合の保有する「クリーンプラザふじみ（可燃物処理・発電施設）」及び「リサイクルセンター（不燃物処理・資源化施設）」の処理施設を計画的に運転し、適切な維持管理を行い、安定した安全なごみ処理に取り組んでいきます。

施設の運営にあたり、地元協議会及び安全衛生専門委員会を定期的で開催し、生活環境の保全などについて、周辺住民の方々や専門家の意見を反映し、徹底的に環境に配慮した運転を行います。

また、継続して、排ガス測定値のリアルタイムでの公表及びダイオキシン濃度や放射性物質濃度などの各種環境データの定期的な公表を実施するなど情報公開に努め、市民の皆さんに安心・安全な施設運営への理解を深めていきます。

【個別事業の取り組み】

<施設運営について>

施設運営にあたり、運営会社及び委託事業者と連絡調整を密接に図り、環境保全を最優先にするとともに効率的で安定した運転を管理・指導します。

不適正物の混入による施設の稼働停止を防止するため、搬入ごみの検査及び組織市と連携した啓発活動をさらに充実して実施します。

さらなる資源化の推進を図るため、認定事業者を活用し、使用済小型電子機器類の再資源化を拡充します。

計画的に組合職員への施設管理に必要な資格取得を図り、運営会社及び委託事業者への持続した管理・指導体制を整えます。

○ごみ検査・調査委託料 8,400千円 ○研修・講習費負担金 295千円

●クリーンプラザふじみの運営

環境基準値を遵守し、的確な予測搬入量による計画的な焼却を行います。

安定した焼却処理を確保しながら、効率的な売電収入の確保に努め、運営会社の安定した経営を監理します。

焼却炉の緊急停止、焼却灰の搬入停止等の緊急事態には、関係団体と適切な連絡・協議を行い、安全を確認し、速やかな復旧に努めます。

○運営費 579,081千円 ○売電収入 384,400千円

●リサイクルセンターの運営

精密機能検査に基づく設備の定期的な更新・修繕を実施し、安定した資源物処理を実施します。

委託事業者と連携し、搬入量に応じた臨機応変な処理体制を確保します。

設備改修やクリーンプラザふじみでの熱回収も活用しながら、容器包装プラスチック類の品質向上を図ります。

施設の更新に向け、基礎調査を基に検討を進めます。

○業務委託料 331,108千円 ○工事・修繕費 283,176千円

<環境学習の推進について>

学校の社会科見学については、三鷹市・調布市の学校関係部署と調整し、両市域の全小学校の児童の見学を図り、積極的なごみの減量・資源化意識の醸成を推進します。

エコサービスふじみ職員や環境学習指導員と連携し、分かりやすく、親しみのある見学メニュー、施設内掲示、広報に努め、施設見学者数の増加を図ります。

自治体や団体による視察研修会は、スケジュールに無理のない範囲で受け入れ、他団体の施設建設の一助とするとともに組合施設のPRを図ります。

施設見学会及び視察研修会においては、組合職員全員が説明できるよう、内部研修を実施し、説明職員体制の拡充を図ります。

○環境学習推進費 11,208千円

<地域交流事業について>

地元協議会、地域住民、関係団体との協働によるふじみまつりを開催し、地域との交流を図り、親しまれる施設づくりに努めます。

会議室等貸出し規程を整備し、町会、団体等の地域交流の場として施設の活用を推進します。

○ふじみまつり運営費 2,040千円

<地元協議会について>

定期的な会議を開催し、運転状況や環境データ、組合の運営状況などを報告・説明し、安全・安心な施設運営への理解を深めます。

定期会議は、年4～5回の開催を予定しています。

<安全衛生専門委員会について>

健康被害に対する対応マニュアルを作成し、さらなる周辺住民への安全を確保します。

定期会議は、年4回の開催を予定しています。

○地元協議会・専門委員会運営費 1,866千円

【その他】

●組合施設の有効活用及びPRについて

地元協議会、環境学習指導員など地域の市民や関係団体が交流する企画については、積極的に参加し、後援します。

組織市の廃棄物や環境政策の部署と連携し、組合施設を拠点とした啓発事業を研究します。

「エントツくん」をシンボルとして、あらゆる機会を捉えて施設をPRし、市民に愛され、親しまれる施設とします。

